

第9回米原市定例教育委員会

日 時：平成26年9月25日
午後2時00分開会
場 所：市民交流プラザ2階 研修室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
山本教育長

教 育 部 長：伊夫貴部長

教 育 総 務 課：田中次長 仲谷課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：西出課長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：宮崎館長

こども未来部長：岩山部長

保 育 幼 稚 園 課：安食次長

書 記：西村

1 開 会

2 委員長あいさつ

新学期が始まって1か月。ようやく秋を感じるようになりました。運動会を拝見しましたが、小中どの学校も一生懸命に走りや団体演技をされ、保護者も含めて盛り上がっていました。管理職会議で案内状にはもう少し色を付けるようお願いしていましたが、学校によっては、生徒会長の手紙も入っており、学校ごとに工夫されていて良かったと思います。2学期はいろいろな行事があります。運動会が終わると文化祭などがありますが、いろいろな行事を通じて子どもたちは、自分の挑戦だけではなく、友達と協力して一つのことを成し得たという感動体験をしていると思います。学校だよりを見ていましたら、息長小学校では学力向上への取組としてテーマを決めて、自分の考えや思いを表現させるのに書く取組を進めていると書かれていました。日々の中で感じたことをまとめる、書かせる、発表させることは大事であると思います。学校訪問をしますと、行事の様子を廊下等に掲示してありますが、一定期間経った後に画像や作文などを通じて感動体験を思い出させる、そういった繰り返しが教育活動に作用すると思います。ぜひいろいろな行事を通じて教育活動を考えてほしいと思います。

3 会議録承認

8月定例会議事録 承認

4 教育長報告

- 9月4日から9月30日まで議会が開会中です。一般質問はありませんでしたが、総括質疑でいじめ問題対策連絡協議会の条例に関して質問がありました。決算委員会では小中学校の学力の問題を取り上げられました。市の学力状況調査は小学校5年と中学校2年で実施していますが、昨年よりは良い結果です。全国平均から比べると小学校は若干下がっていますが、中学校は全国平均を上回っています。ただ、全国の学力状況調査の結果では、滋賀県は非常に悪かったですし、米原市も厳しい状況でした。詳しくは10月に報告させていただきます。もう一点決算特別委員会の中で、生涯学習課の関係で社会教育団体への補助金の執行について、不適切な成果の表現があり、議員から指摘がありました。いろいろ精査して再確認しながら答弁しましたが、疑わしいということで承認がもらえないような状態です。今後そういった団体への補助金の執行につきましては、精査して確認しながらやっていきたいと思えます。また、こども園の造成工事の中で擁壁の傾きがあったことと、今回8月の雨の被害について総務教育常任委員会と健康福祉常任委員会による連合審査の中で経過説明をさせていただきました。

【教育総務課】

- 2学期のスタートと同時に空調も稼働でき喜んでいただいています。今後非構造物の撤去について、進めていかなければなりません。

また、通学のあり方検討委員会の2回目を開催しましたが、安心安全も大事だが体力も付けなければいけないなど意見をたくさんいただき、まとめるのが大変だなという思いです。神戸の事件もありましたが、教育だけの問題ではなく、市民総ぐるみで未来を担う子どもたちをどう見守っていくか、地域がどう協力していくかを議論するときに来ているのではないかと思います。通学路に逃げる場所があるか、スクールガードがもっと増えないか、子どもが一人になっていないかという確認を学校教育課を通じて学校に指示していますが、やはり市民総ぐるみが必要ではないかと思います。

【学校教育課】

- 各学校の運動会も小学校は全て無事に終わりました。あと、双葉中学校と河南中学校、幼稚園が残っていますので、皆さんにはお世話になりますよろしくお願いします。

【生涯学習課】

- 8月31日に開催したかつとび伊吹に約1,200人の参加がありました。8合目から頂上まで選手で渋滞しましたので、新たな課題として大会運営を含めて次年度につなげたいと思えます。また、9月最初の日曜日には琵琶湖でマリンフェスタ in 米原を行い、約40人の方に参加いただき、カヌー、バナナボートなどいろいろな遊びを体験していただきました。また、ルッチプラザのホール活性化事業で取り組んでいる本物に出会う事業に

静岡県裾野市から副市長、教育長が視察に来ていただき、私も対応させていただきました。家庭の教育力向上のワーキング会議を開催し、活発な意見も出ておりました。米原市の子どもたちに携帯電話は夜9時までにはしましよというような提言ができればと思っています。

【歴史文化財保護課】

- 来年山城サミットを米原市で開催する関係で、鳥取市へ番場、上平寺の関係者の方と参加します。また、来年度の採用に関して古文書の専門職を採用ということで、30人程が受験していただきました。

【学校給食課】

- 9月1日から給食が始まり、1件異物の報告がありましたがおおむね順調に進んでおり、今後も安心安全について確認をお願いしていきたくと思っています。

【図書館】

- 図書館協議会を8月30日に開催し、第2次子ども読書推進計画のことを話題にさせていただきました。学力向上のためには読書に親しむ環境を整えるということが大事であるというところで、特に坂田小学校の図書室の活性化はすばらしい取組をしていただいています。今後、図書館、学校教育課、学校が連携をして、子どもたちの読書活動の推進、国語力の向上に向けて、来年度は学校司書を図書館で確保しながら学校に派遣するところからスタートし、数年後には小中学校に学校教育課として配置の方向にもっていきたくと思っています。学校支援地域本部事業も読書活動に特化しているものを、今後、活動を広げて各小学校中学校区における学校支援地域本部事業を立ち上げていきたくと思っています。

委員：近江八幡市にトイレの視察に行かれたようですが、生徒の意見を取り入れて整備されたというんですね。ぜひ、構築の段階から子どもたちの意見を取り入れてほしいと思います。

事務局：各校の生徒会、児童会にアンケートを行いました。今年度3校分の実施設計と全体の基本的な考え方を提示していただくことになっています。進めるに当たっては、基本的なパターンを決めた上で、仕上げの色などを子どもたちの意見を聞きながら最終設計に取り入れていければと思います。便器の数も洋式にすると減ってしまいますし、和式をゼロにするのも子どもたちのアンケートからダメなのかなと思っていますので、その辺りは学校の意見を十分聞きながらやっていきたいと思っています。

委員：子どもたちからの提案も小さいところで良いので、取り入れてほしいと思います。山城サミットは教育委員会が主体ですか。

事務局：所管としては教育委員会ですが、鎌刃城と上平寺城の地域の方々と実行委員会できなないかと思っています。

委員：裾野が広がるようにお願いします。

事務局：自分たちの近くにあるものが、まちづくりに使えるというきっかけになれば良いと思います。

委員：伊吹山テレビでマリンスポーツの集いの放送を見て、楽しいことができるんだなと分かりました。もっと輪が広がれば良いと思いました。

携帯の話も先ほどありましたが、補導されている事案でも夜中に携帯で連絡を取り合っただけのことだと思いますので、使わないでおうという取組を進めていただきたいと思います。

学校図書館司書の話がありましたが、私も学校の図書館主任をして、学級担任をしながら苦勞した経験があります。その時代から思うとボランティアの方もおられ良くなっていますが、もっと魅力ある学校図書館づくりのためにはみんなが力を合わせていかないといけないと思います。坂田小学校の様子も見させていただきましたが、たくさん子どもたち、保護者、先生たちが汗びっしょりになって、一日であんなにできるのはすごいことだと思いました。

事務局：来年の案も検討しているところですが、学校がお任せではいけないと思うので、モデルを作りながら進めるということで、来年度は図書館から派遣をしていこうと思っています。モデル的にスタートしてから広げていきたいと思っています。

事務局：学校図書館には読書センターと学習情報センターとしての機能があります。小学校はボランティアさんが全校に配置できており、この人たちのバックアップと教員の力、地域の皆さんの力でできるという仕組みを坂田小学校で作りました。来年は別の地域でやってみたいと思いますし、中学校でもやってみたいと思います。それと学校司書が力になることで、学校の授業のあり方に変化を及ぼしたいと思います。今回坂田小学校でリニューアルをしましたが、これを使った事業展開の実践の検査が来月予定されており、そこまでを含めてコーディネートをお願いしていますので、また報告させていただきます。

委員：学校図書館司書の配置は全国的にどれくらいですか。

事務局：学校図書館法の改正により、学校図書館司書が位置付けられ、配置に努めなければならぬとされました。司書を無理やり置いても機能しないと思うので、図書館に学校司書を置いて、そこからモデル校に派遣して、流れが理解できるようになったら、学校教育課側に渡していきたいと思っています。

委員：結局、子どもたちに図書館にどう足を運ばせるか、それがやれないと意味がありません。学校図書館司書の必要性など最近よく耳にするようになりましたので、良い方向になればと思います。

文化財の採用試験も遠くから来られているようで全国規模のネットの力の強さを感じました。

事務局：32人の受験でした。全国各地から応募があったようです。

委員：米原市に特別に何か魅力があるのでしょうか。

事務局：学芸員で古文書での正職員採用が余りないためだと思います。学芸員の採用は発掘関係が多いので。

委員：学力テストの結果に関して、議員の皆さんはどのような視点でどのような話でしたか。

事務局：公表の話と市の学力状況調査の効果についてが主な意見でした。

事務局：学校別に公表すべきという御意見でしたが、公表はしないと答弁しています。

事務局：効果については、小5、小6、中2、中3と追跡調査ができますので、それを辿っていけば、その子の伸びと指導の改善、関わりについて考えられると意見を述べています。公表については、序列化にもつながりますし、学力は一部のものでありますのでそぐわないという話をしています。

委員：結果のことをどうこう言っておられるのですか。秋田へ行かれて先日報告を受けたようなことと絡んで、こうしたらどうかというような意見はなかったのですか。

事務局：秋田の視察を受けて、やっぱり先生の指導力を上げていかないといけないということは強く言われていました。秋田を見たときにベテランがベテランの味をきちっと出しており、学級の掲示物や子どもの様子を見ても、先生と生徒のやり取りからしても、落ち着いてきちんとできている感じがしました。

委員：学力テストの結果に対して、学校現場では先生方はどう受け止めていますか。

事務局：校長との面談では、何とかしないといけないという思いは持っておられますが、多忙感があるのも事実です。そこらをどこまで追い求めるか。もうすぐ県の教育長と各市町の教育長の懇談がありますが、おそらく県は具体的な策を持ってくると思います。

委員：先日、離れ島で大学生を呼んできての特訓がテレビ放送されていました。学力テストの向上のための特訓をしておられたんだと今になって思います。低学年から一つ一つ丁寧に分かるまで指導するような取組、分かる喜びが感じられるような取組の積み重ねが学力向上につながるのではないかと思います。

事務局：とにかく成績を上げるんだという施策だけに走ってしまうと危険であると思っています。

委員：子どもに学力を付けないといけないという意識は先生方もお持ちだと思います。学校ごとに各場面を設定して、我が校ではこのようにやっていますということをはっきりと打ち出していただく。何か変化を付けて取組を継続していただいたときに、必ず生徒が変わってくると思います。数字だけではおかしくなるのではないかと思います。

市の学力テストの効果についてですが、問題の質は同じですか。学力テストの結果をどう生かしていくと良いのかと思いますが、中学校で先生と話していると、今年のこの学年は低いという話を聞くことがあります。低いのはなぜかということを学級経営で壊れているのか、指導が悪かったのか、たまたま1年ごとに先生が変わったのかなど、厳しいかもしれませんが小学校で分析をしてもらいたい。

委員：10年くらい読み聞かせをさせていただいていますが、今年から学年別に入らせてもらうようになりました。担任の先生によってさっと始められる場合とまったく駄目な場合があります。やはり教師力だなと感じます。

事務局：教師力を高めることは喫緊の課題です。高学年がしっかりしていないと学校自体が乱れてしまうということもあります。生活に向かう姿勢、勉強に向かう姿勢など、学校全体で共有していくという姿勢が必要です。それから若い先生たちの力を付けていく、学校の核になってもらわなくてはならないと思います。

委員：先生方同士の切磋琢磨、先生が先生に教えるということがなくなってきていると聞きますが。

事務局：若い世代の一つ上の世代がいない状況で、学校の中心になっているのが40代後半から50代なので、教えたり叱ったりということが実際できにくい状況です。

委員：各学校が重点でやろうとしていることを一覧としてまとめてください。

委員：新採教員に対しての指導はどうなっていますか。

事務局：1年目は初任者研修がありますが、2年目からは他の教員と同じで学校の中での指導です。

事務局：若手研という形で教育センターで2年目から4年目までの若手の指導はグループを組んでやっています。

委員：児童生徒には本を読むという事業が続いていますが、この事業は非常に大事だと思います。自分で読む力、理解する力が付いていきますので、こういった積み上げは大事だと思います。

事務局：学力の話から発展していますが、次回資料を見せていただき意見交換させていただきたいと思います。先日管理職会議の中で研修の話をしました。さっそく福井へ私費で研修に行ったという話をされていたので、中学校は復命などされていると思いますので、何か情報があれば入手しておいてください。

また、図書館で、市内事業に合わせた特集事業の展開とありますが、横の連携の視点は非常に大事だなと思います。良い視点であると思います。

5 議案審議

議案第72号 米原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

【教育総務課】

原案承認

議案第73号 後援等名義使用承認(後援)について

○萩の会コラボレーション

【生涯学習課】

原案承認

議案第74号 後援等名義使用承認(後援)について

○ピュアプラス第2回定期演奏会

【生涯学習課】

原案承認

議案第75号 米原市通学路交通安全対策推進会議設置要綱の制定について

【学校教育課】

委員：第3条のメンバーについて、国や県は入れないといけないのですか。

事務局：国道、県道もありますので、毎年の安全点検のメンバーを考えています。

委員：安全パトロール隊などは第8号で入れてくるのですか。

事務局：推進会議で部を設けて点検を行なおうと思っていますが、近江地域ですと安全パトロール隊の方にも入っていただくことも考えています

委員：施行日はいつですか。

事務局：議決をいただいたら、本日9月25日から施行する形にします。会議の立ち上げはできるだけ早い時期に行います。

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認について

○2014子育てと教育を語るつどい

【学校教育課】

○第1回「かもの里」親善ゲートボール大会

【生涯学習課】

○チャレンジカップ IN MAIBARA

【生涯学習課】

○第23回山東カップ少年サッカー大会

【生涯学習課】

○第42回近江大菊花展

【生涯学習課】

(2) 米原市読書活動学校支援運営委員会について

【図書館】

事務局：これまで7年間事業をしてきましたが、要綱がありませんでした。この要領は、現状に合わせて読書活動に限定していますが、市全体で事業する場合に別途要綱を制定します。

委員：中学校区で学校支援地域本部事業を立ち上げたら学校教育課なりで要綱を定めて市全体としての要綱としていくということですか。

事務局：そういうことです。読書活動はその一つということになります。

(3) 米原小学校区の保育・教育施設における今後の再編方針について

事務局：資料に基づき説明。

委員：今の保育所の敷地は市のものですか。青岸寺との境界ははっきりしているんですか。

事務局：はい。

委員：民設民営になるわけですが、定員はどうなりますか。

事務局：米原保育園は今の土地に愛着を持っておられ、ぜひここに建てたいとの申し出です。

定員についても、現在の60人から70人位の定員になると思います。

委員：確かに環境は非常に良いところですが、運動場などはそのままで行けるのですか。

事務局：旧の米原小学校校舎が隣にありますので、そこも含めた土地を提供していこうと考えています。

委員：旧の米原小学校校舎を無くしてしまうという計画もあるのですか。

事務局：建物自体が老朽化しているので、いつまでもあのままで放っておくのは難しい。中に置いてある物をどうするかも問題です。

事務局：旧米原町教育委員会で調査した文化財がありますし、曳山の練習もされています。

事務局：地域の理解も含めて、今後どうしていくかが話題になると思います。

事務局：米原保育園は指定管理をお願いしたときに、米原区の老齢化の中で子どもと一緒に過ごせる場所ということで区に御理解をいただいてきた経緯もあります。曳山の練習場所の話も新園舎を造る中で検討していく方法もあるということで、提案させていただきたいと思っています。

委員：中町の練習だけなので、その辺も考えてください。

事務局：練習を子どもたちが興味深げに見るので、伝統の伝承ということで大事にしたいと思います。

委員：米原小学校校舎は無くなるんですか。建物の価値は無いんですか。懐かしい建物ですが。

事務局：地元としては愛着があるのかなと思いますが、建物の文化的な価値は十分把握していません。

事務局：自由の像の移築が問題です。

委員：駅前には興味が無かったのでしょうか。駅直結が良いと思いますが。

事務局：今の場所が良いとのこと。

7 質疑応答

8 その他

- ・10月14、15日は、都市連協の県外研修です。
- ・11月12日に長浜市で県内研修です。
- ・学校訪問が11月中旬から始まります。

9 閉会

次回

第10回定例教育委員会 10月21日（火） 午後3時30分～

山東庁舎2階 2AB会議室

以上をもって第9回定例教育委員会を午後3時50分に終了した。